

徳川家入国 400 年記念特別展
徳川頼宣と紀伊徳川家の名宝

市立博物館 ☎ 423-0003、県立博物館 ☎ 436-8670

- 日程 / 10月19日(土)～11月24日(日)
- 場所 / 市立博物館、県立博物館



和歌山県指定文化財
「海老時絵鞍」
(紀州東照宮蔵)

■ 内容 / 頼宣の父・家康から譲り受けた遺産や、頼宣やゆかりの人物の所用品などを展示。

■ 費用 / 【市立博物館】一般 500 円 【県立博物館】一般 830 円・大学生 520 円
※いずれも高校生以下無料。
関連行事は 19 ページへ掲載

11月23日(土)
徳川宜子氏記念講演会

上記特別展にあわせ、紀州徳川家 19 代当主の徳川宜子氏の記念講演会を開催します。



紀州徳川家入国 400 年の記念の年に和歌山にお招きいただき嬉しく思います。当日を楽しみにしております。

紀州徳川家 19 代当主 徳川宜子氏

松平健氏が来和

徳川家入城 400 年特別番組「南海の鎮」を撮影



テレビ和歌山特別番組の撮影に合わせ、時代劇ドラマで徳川吉宗を長年演じた俳優の松平健さんが和歌山を訪れました。松平さんが語り手となり、紀州藩初代藩主・徳川頼宣の足跡をたどります。

- 放送日時 / 10月20日(日) 20時～(54分)
- 放送テレビ局 / テレビ和歌山(5ch)ほか

Q 江戸の和歌山市を身近に感じるものは何か残っていますか？
A 城下町の町名はそのほとんどが今も使われています。例えば、江戸時代初期から鍛冶屋町や米屋町など同じ職種・業種の職人や商人たちが集まって住んでいたことや、仲間町や田辺町など武士が住んでいたことに由来する町名がたくさん残っています。そのほか本町や広瀬通丁など城下町の建設時につけられた町名もあります。鷺ノ森、湊、岡などの地名は江戸時代以前にさかのぼる古い地名です。消失した町名が一部ありますが、目に見え



鷺ノ森遺跡から見つかった江戸時代の徳利。今もある「元博勞町」の地名が記載されており、当時から同じ地名が使われていたことがわかります。

ない町名も文化財として大切にしていきたいものです。
Q 紀州徳川家は、現在も続いているのですか？
A 紀州徳川家は、江戸時代が終わると和歌山を離れて東京へ移住しましたが、現在も続いています。現在の当主は 19 代の徳川宜子氏です。今年徳川家の紀州入国から 400 年を迎えることを記念して、11 月に宜子氏を和歌山にお招きして記念講演会を開催します。
また、初代頼宣についてより多くの人に知っていただくため、10月19日(土)～11月24日(日)に市立博物館と県立博物館で、特別展「徳川頼宣と紀伊徳川家の名宝」を開催します(※詳細は左上参照)。両館で同時開催する大々的な展示は初めての試みですので、ぜひ一度ご覧ください。



特集 紀州徳川家入国 400 年 ～現在の和歌山市から江戸の和歌山市を知る～

今から 400 年前の 1619 (元和五) 年、徳川家康の 10 男である頼宣が紀州へ入国しました。今回の特集は入国 400 年にあたる節目の年にちなみ、初代藩主の頼宣や紀州徳川家の歴史、現在もなお続く和歌山市の地名について、市立博物館の学芸員にお話を伺います。

Q なぜ紀州に徳川家が入国したのですか？

A 江戸幕府を開いた徳川家康が 1616 年に亡くなり、子の秀忠が跡を継ぎました。秀忠は家康ほどのカリスマ性を持たなかったため、幕府の権力基盤をゆるぎないものにする必要がありました。そこで、まだ不十分だった西日本の支配を強化するため、幕府が管理する大坂城を中心として、その周辺に徳川家の一族や昔からの家臣を配置しました。紀州は大坂から近く、海上交通の要衝でもあったので、秀忠の弟である徳川頼宣を配置することにしたのです。

Q 初代藩主の徳川頼宣はどういう人でしたか？

A 頼宣は徳川家康の 10 男で、のちに將軍になる徳川吉宗の祖父です。文武両道で、領民思いであったことが伝わっています。例えば、頼宣が領民に与えた父母状では、父母への孝行や法律を守ることを、慎み深く生きること、正直であることの大切さを説いています。頼宣は領民を抑圧的に支配するのではなく、むしろ教育することで領民の自立を促し、紀州を豊かな国にしようとしたのです。

「和歌山市の文化財を活かした歴史体感プログラム事業」が、文化庁の「Living History (生きた歴史体感プログラム) 促進事業」に採択されました。

Living History(生きた歴史体感プログラム)は、歴史的な出来事や当時の生活を再現することで、文化財の付加価値を高める事業のこと。

- プログラム① 『南紀徳川史』に基づく紀州藩に仕えた人々の再現
- プログラム② 徳川家関係行列図に基づく和歌山城の大名行列の再現



イメージ

文化振興課 ☎ 435-1194

和歌山城 リアル謎解きゲーム第 2 弾

VR 体験アプリを利用したリアル謎解きゲームの第 2 弾「紀州徳川家の礎を築いた徳川頼宣の治世」。和歌山城にて開催中!

- 期間 / 令和 2 年 3 月 15 日(土)までの 9 時～17 時
- 場所 / 和歌山城周辺(受付: 15 時までにわかやま歴史館)



紀州徳川家の参勤交代

- 日時 / 11 月 2 日(土)～12 月 8 日(日)
- 場所 / わかやま歴史館
- 内容 / 江戸と和歌山を旅した行列の様子や行程を描いた図、旅行道具などを展示
- 費用 / 100 円(中学生以下無料)

紀州徳川家の歴史を学べる わかやま歴史館

和歌山城内の一角(一番丁三番地)にある「わかやま歴史館」。紀州徳川家をはじめ和歌山城や郷土の人物についての展示室、観光案内所、土産品センターがあります。



なんかいのしずめ「南海之鎮」の文字が刻まれた獅子の金印。「南海之鎮」とは南海地域を治める役目として、紀州徳川家に伝わる言葉の意味。



和歌山城整備企画課 ☎ 435-1044